

令和5年度 第2回伊那市立図書館協議会 議事録

日時	令和6年2月21日(水)午前10時00分から午前11時00分まで
場所	伊那図書館 1階視聴覚室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】</p> <p>塚田琢磨、埋橋浩、竹中雅幸、寺田利男、春日由美子、矢野茂登美、松澤浩一、唐木智恵子</p> <p>【伊那市教育委員会関係者】</p> <p>笠原教育長、三澤教育次長、矢澤生涯学習課長、埋橋伊那図書館長、丸山高遠町図書館長</p>
議事内容	
1 開会	
2 あいさつ	笠原教育長、竹中会長
3 協議事項	
(1) 令和5年度事業報告について	
事務局	資料1頁から11頁の主要事業の報告について、伊那図書館、高遠町図書館それぞれの館長から報告、説明。
(2) 令和6年度主要事業について	
事務局	資料12項伊那市立図書館主要事業について伊那図書館、高遠町図書館それぞれの館長から説明。
会長	ご意見、質疑があればお願いしたい。
委員	高遠町図書館のイベントにおいて、定期的なお話し会の参加数が減っているとのことだが、広報等はどのようにしているのか。
事務局	高遠町図書館では、図書館で発行している広報誌を小学校・保育園に配布している他、防災無線でも広報を行っている。ただし団地や新しいお宅には未加入の世帯があるため、子育て世代に十分伝わっていない心配がある。伊那図書館では学校や保育園へのチラシ配布の他、HPやSNSも利用している。来年度からは参加申し込みをQRコードから行えるようにする予定。
委員	自分は読み聞かせの演者として活動しているが、高齢化が進んでいる。今後は演者の世代交代が必要であるため、若い人たちとのつながりを作っていくことが必要であると考えている。
委員	古文書活用事業における高遠での講演会は自分も参加させてもらったが非常に良かった。これは公民館活動として開催されたのか。またこのようなイベントを開催してほしい。
事務局	主体としては市教委・生涯学習課として開催したが、予算は図書館から出している。公民館の活動とは別扱い。古文書資料を活用したイベントは引き続き開催予定。
委員	丁寧に各種事業を開催していただいている。広報や事業の費用は常に大きな問題だと思うが、行政として広報用のアプリを作り、それを見れば市の全体行事が一目で分かるようになればいいと思う。
会長	これからの広報は若い人たちを呼び込みやすい、時代に合ったものが

求められると思うので検討して行ってほしい。

4 その他

5 閉会